

Sunフロアエクリヤープライマー 溶剤2液形エポキシ樹脂プライマー

- 規格表示 —
- 特徴
- ・浸透性が良く、脆弱な素地の強度を高めます。
 - ・耐水性、耐アルカリ性にすぐれており、上塗りの性能を向上させます。
 - ・種々の上塗りとの密着性にすぐれています。
 - ・上塗りの吸い込みによる仕上がり、性能の支障を防止します。

塗料性状

		塗料液(主剤)	硬化剤			
色		淡黄色	淡褐色			
密度(g/cm ³)(23°C)		0.90(混合液)				
光沢		つや有り				
引火点		6°C	5°C			
発火点		367°C(参考値)	370°C(参考値)			
消防法表示	化学名	合成樹脂エクリヤー塗料		合成樹脂エクリヤー塗料		
	危険物区分	第4類 第1石油類(非水溶性)		第4類 第1石油類(非水溶性)		
	危険物等級	II(火気厳禁)		II(火気厳禁)		
有機溶剤区分		第2種		第2種		
毒劇物表示		—				
有害物表示		エポキシ樹脂		脂肪族ホリアミドアミン		
ホルムアルデヒド 放散等級	登録(認証)番号	A05030				
	区分表示	F☆☆☆☆				
	問合せ先	http://www.toryo.or.jp				
国連/指針番号		1263/128		1993/128		
環境性能	クロロビリス	配合せず	ホルムアルデヒド	配合せず	トルエン	配合せず
	キシレン	配合せず	パラジクロロベンゼン	配合せず	エチルベンゼン	配合せず
	スチレン(モノマー)	配合せず	フタル酸ジ-n-ブチル	配合せず	テトラデカン	配合せず
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	配合せず	ダイアジン	配合せず	アセトアルデヒド	配合せず
	フェノール	配合せず	鉛	配合せず		
	TVOC	78.0%				

塗装基準

- 混合 : 2液形のため、「塗料液(主剤):硬化剤=1:1(重量比)」に混合し、十分にかくはんしてください。
- 荷姿 : 15kgセット(塗料液(主剤):硬化剤=7.5kg:7.5kg)
- ポットライフ : 2時間(23°C)
- 希釈剤 : 無希釈
- 塗装方法

塗装方法	ウールローラー塗り
希釈率	—
使用量	0.15~0.25kg/m ² /回

- ・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
- ・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

乾燥時間

	5~10°C	23°C	30°C
指触乾燥	—	—	—
塗り重ね乾燥	6時間以上5日以内	4時間以上3日以内	4時間以上3日以内

- ・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。
- ・上記塗り重ね時間は新設コンクリート面の場合です。塗替えの場合は5°Cで24時間以上5日以内、23°C以上の場合は16時間以上3日以内です。

□ 注 意 事 項

- ・ワックスを使用している床面は付着阻害を起こしますので、ワックス用はく離剤などで除去し、水洗いを十分行い十分に乾燥後、塗装してください。
- ・旧塗膜が何回も塗り重ねられて積層されている場合、塗膜全体が柔らかくなっている場合があります。この場合は、そのまま塗り重ねると塗膜の物性差によって塗膜割れが発生するおそれがありますので、旧塗膜をはく離してから塗装してください。
- ・旧塗膜がエポキシ系、ウレタン系の場合は、ホリヤー・サンダーで表面を目粗してください。
- ・下地が強化コンクリートや着色コンクリートの場合は、付着性向上のため研削機を用いて、下地表面を物理的に目粗してください。
- ・常時、水が溜まる箇所は傾斜をとり、排水溝を設けるなどして、排水処理を行ってください。
- ・常時水がかかる可能性がある場所、または下から(塗膜の裏面から)水分が廻る可能性がある場所には、Sun707Eレゾモルキヤー(新)を使用した塗装仕様で塗装してください。
- ・下地表面の油脂や汚れは溶剤などで十分に除去してください。
- ・下地コンクリート表面のレイタンス、エフロッセンスなどの粉化物、ぜい弱部は十分に除去してください。ひび割れ、巣穴、不陸などがある場合や、旧塗膜に剥がれがある場合には、あらかじめエポキシ樹脂パテなどを充填するなど、段差修正や部分補修などを行い、平滑な面にしてから塗装を行ってください。
- ・塗り替え時で、旧塗膜が弾性的な場合は使用しないでください。
- ・旧塗膜の種類が不明の場合には、必ず試験施工で適性を確認してください。塗り替えの際、旧塗膜の劣化状況や付着状況、または使用環境などによりシーラーレスタイプの塗料でもプライマーが必要な場合があります。
- ・シッターコンクリート面に塗装する場合は、プライマーを数回(2~3回)塗装し、素材表面の強度を向上させてから上塗りを塗装してください。
- ・下地コンクリートに水たまり等がある場合、ウエス等で拭き取り、ガスバーナー等で強制的に乾燥させてから塗装してください。
- ・植物油、鉱物油等がしみ込んでいる場合、中性洗剤にて洗浄し、研削機にて研磨処理を行ってから塗装してください。
- ・本品の上には2液形塗料を塗装できますが、塗り替え用のリフティング(縮み)防止には使用できません。
- ・塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高温湿度、結露、降雨など)、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- ・旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害を起こすおそれがあります。
- ・改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認の上、塗装仕様をご検討ください。
- ・塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。
- ・素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科学社製Hi500シリーズで測定した場合)の条件で塗装してください。
- ・施工に関する詳細な注意事項は標準施工仕様書をご参照ください。
- ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください、居住者へのご配慮お願い致します。
- ・硬化が不十分な場合は、シッターで再溶解する場合があります。
- ・エポキシ樹脂系ですので、皮膚に付着するとかぶれを引き起こすおそれがあります。肌に着しないよう特に注意してください。
- ・取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、保護手袋、保護メガネ、前掛け等を着用してください。
- ・塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ・屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- ・塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- ・塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- ・飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- ・ローラー、ハケなどは、他の塗料での塗装に使用するとハジキなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- ・製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(SDS)をご参照ください。

SunフロアEクリヤープライマー
溶剤2液形エポキシ樹脂プライマー

□ 成分表

(塗料液(主剤))	エ	ポ	キ	シ	樹	脂	34
	溶					剤	66
	合					計	100

(硬化剤)	変	性	脂	肪	族	ポ	リ	ア	ミ	ン	26
	溶									剤	74
	合									計	100

(混合比) 15kgセット(塗料液(主剤)/硬化剤=7.5kg/7.5kg)

□ 性能表

試験項目	規格	性能
容器の中での状態	かき混ぜたとき堅い塊がなく一様である。	合格
塗装作業性	塗装作業に支障があってはならない。	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
上塗り適合性	上塗りに支障があってはならない。	合格
耐水性	2時間水に浸したとき異常がない。	合格
耐アルカリ性(水酸化カルシウム飽和溶液)	2時間アルカリに浸したとき異常がない。	合格
ホルムアルデヒド放散量	F☆☆☆☆:0.12mg/L以下	合格

・製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(SDS)をご参照ください。